

年 組 名前:



ヤマトダマを切り倒して収穫する関係者＝甲府市上向山町



三枝 大悟  
杉原みずき

収穫した木材は乾燥させ、来年度以降、活用場面や燃焼効率などを検証する実証を行う計画。種は開発業者に渡し、業者が活用を探る。(杉原みずき)

興味を持ってもらうことができればと思つて取り組んだ。燃料として使えるといいと話した。計8カ所での収穫は12月中旬に終える予定。栽培中は、太陽光を利用した機器で生育環境のデータを収集して、栽培前後の土壌分析と合わせて、本年度中に実証結果を農家らに紹介する。

渡辺さんは「何か若者に農業に興味を持ってもらうことができればと思つて取り組んだ。燃料として使えるといいと話した。計8カ所での収穫は12月中旬に終える予定。栽培中は、太陽光を利用した機器で生育環境のデータを収集して、栽培前後の土壌分析と合わせて、本年度中に実証結果を農家らに紹介する。」

甲府市が、脱炭素社会の実現に向けた実証事業として栽培しているバイオマス燃料作物「ヤマトダマ」の収穫作業が、市内「ナリーパワー」(同市)などの農地などで進んでいる。収穫した木は、来年度以降に活用方法の検討を進め、化石燃料の代

## ヤマトダマ 収穫進む 市、バイオ燃料活用探る

替エネルギーとしての可能性を探る。栽培は、電力会社「ヴィジョ

ナリーパワー」(同市)などの農地などで進んでいる。収穫した木は、来年度以降に活用方法の検討を進め、化石燃料の代

る渡辺元一さん(76)の畑で収穫作業をした。同所では6月上旬に植えた15本の苗が約4月に成長。同社のスタッフらが木を切り倒し、種も採取した。

渡辺さんによると、畑は夜間に作動する電気柵を設けていることもあり、獣害はなく、ほとんど手をかけずに育つたという。

渡辺さんは「何か若者に農業に興味を持ってもらうことができればと思つて取り組んだ。燃料として使えるといいと話した。計8カ所での収穫は12月中旬に終える予定。栽培中は、太陽光を利用した機器で生育環境のデータを収集して、栽培前後の土壌分析と合わせて、本年度中に実証結果を農家らに紹介する。」

(2024年12月18日付 山梨日日新聞19面)

### 問1

甲府市が「ヤマトダマ」を栽培した目的を教えてください。

.....

### 問2

ヤマトダマは、何の代替エネルギーになる可能性がありますか。

.....

### 問3

収穫した木材は、どのような実証を行う計画ですか。

.....